

『死にそうだけど生きてます』



高校の制服が買えない

中古1円の参考書で受験勉強

子どもだった頃、私にとって育った村は、逃げられない檻だった

絶え間のない暴力と
際限のない貧困を
閉じ込める檻

社会を優しくするために

ひとにやさしくするために



日時：3月25日（土）午後1時30分より
場所：県民会館3階大会議室

お話

ヒオカ氏

ノンフィクションライター。1995年中国地方の山間過疎地で生まれる。父に障がいがあり、定職につけなかったため、常に貧困の状態の家庭で育つ。

中学1年生でいじめに遭い、不登校に。社交的な性格だったが学校に通えなくなる。そのときの心境を綴ったスピーチが大会で選ばれ、言葉の力を知る。

その後、SNSを通じていろいろな人と出会う。ライターの師匠となる人物からすすめられ、noteで執筆を開始。

貧困家庭で育った体験を描いたnoteが拡散され、ライターとしての活動をスタート。

報告

「アンケートから見えてきたこと」

フードバンクしまねあったか元気便利用者アンケート調査より
佐藤桃子氏（島根大学人間科学部講師）

参加無料

どなたでも参加できます

お問合せ・申し込み先

会場や資料の都合で事前にお申し込みいただくと助かります

☎0852-67-7350 fax0852-67-7351

✉ attakagenkibin@gmail.com

【主催】特定非営利活動法人フードバンクしまねあったか元気便、地域つながりセンター



フードバンクしまね

あったか元気便

FOODBANK SHIMANE ATTAKA GENKIBEN